

夏休みがはじまりました。ただし、大学のなかには震災の影響で新学期が遅かったところもあり、まだ前期試験中の学校もあるかもしれません。むかしは「夏休みがあつて先生方はいいですね」と言われました。今は、休みが休みではなくなっていました。でも、授業や講義がない時期はうれしいもの。充電をしっかりとりたいものです。ネットワークでは、今夏も「夏休み経済教室」を中心に、先生方に役立つ情報や研修機会を提供してゆきたいと考えています。そんな情報を今月もお送りします。

◆ 目次

【 1 】 最近活動報告

1. 東京部会報告
2. 大阪部会報告 他

【 2 】 イベントカレンダー

これからの予定をまとめて掲載します

2011 年度の夏休み経済教室の直前の状況などを報告します

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

1) 大阪部会が開催されました。

24 回の大阪部会が、7 月 2 日（土）に同志社大学大阪サテライトで開催されました。参加者 14 人でした。

篠原代表の報告、『経済セミナー』で掲載された奈良学園の山本先生のレポートに関する報告、「中高社会科教員のための経済入門」出版企画の検討などが行われました。内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka024report.pdf>

2) 東京部会報告

40 回の東京部会が、7 月 14 日（木）に日本大学経済学部で開催されました。参加者 10 人でした。

篠原代表の報告、「夏休み経済教室」の準備状況報告、中学向けの講義内容の検討、歴史を経済学でどう読み解くかの検討、入試問題シンポジウムの準備、桜修館中等の高橋先生の公開授業の予告などが行われました。内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo040report.pdf>

3) 大竹文雄先生 TV 出演

ネットワーク副代表の大竹文雄先生が、7月26日から4話にわたる「真夏の夜の経済学」(NHK 教育=E テレ)の最初の2話に出演されました。放映は終了していますが、この種の番組は再放送があるはずですので、見落とされた方はチェックされるとよいと思われます。番組HPは以下の通りです。

<http://cgi2.nhk.or.jp/navi/detail/index.cgi?id=7720110729>

4) 「金融を高校で教える」が掲載されました

雑誌『経済セミナー』で連載中の「中学・高校の経済学教育」の第三回が掲載されました。今回の執筆者は海老名高校の梶ヶ谷穰先生で、テーマは「金融を高校で教えるーお金からファイナンスへ」です。手に取ってお読みください。同誌のHPは以下の通りです。

http://www.nipppy.co.jp/magazine/maga_keisemi.html

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を掲載します。

■夏休み経済教室の東京教室(中学、高校向け)が本日から始まります。

第四回目となる、東京証券取引所と共催の「夏休み経済教室」が本日から始まります。

本日の名古屋での会場は「ウインクあいち(愛知県産業労働センター)」、8月4・5日の福岡での会場は「福岡交通センター」、8月8・9日の大阪での会場は「天満研修センター」です。少し間をあけて、東京中学は8月18・19日、東京高校は8月22・23日で会場は中学高校とも、日本大学経済学部7号館です。

今年も、中高の教科書を読み解く(中川、野間、加藤の各先生担当)や大学入試問題解説(西村先生担当)の他、地歴の先生方向けの講義(篠原代表担当)、8月23日の東京高校では「入試問題プロジェクト」の総括シンポジウムなど多彩な講義が予定されています。

大阪と東京高校での大竹文雄先生(大阪大学)、東京中学での林敏彦先生(同志社大学)、東京高校での飯田泰之先生(駒澤大学)、同じく東京高校での大田弘子先生(政策大学院大学)の講演も予定されています。

今回は、ちらしによる広報やHP上の案内のほか、中日新聞やリクルートのメルマガなどを通じた紹介もあり、参加者の増加が期待されています。7月27日現在の各会場の参加申込者は以下の通りです。

8月1日	名古屋中学	42	8月2日	名古屋高校	72
8月4日	福岡高校	62	8月5日	福岡中学	59
8月8日	大阪高校	100	8月9日	大阪中学	103
8月18、19日	東京中学	117、94			
8月18、19日	東京高校	151、150			

このうち、東京高校は会場が一杯になり申し込みは締め切っています。ほかの会場は、まだ余裕があるので当日まで受け付けます。お知り合いの先生などいらっしゃったら、ひと声おかけください。

■2011 経済教育ワークショップ「札幌」を開催します。

日時：8月6日（土）

場所：札幌キャリアバンク・セミナールーム

札幌市中央区北5条5丁目7番地 Sapporo55 ビル5F

内容：金融を中心とした教材開発、他

特徴：金融広報中央員会、北海道金融広報委員会との共催のワークショップです。大竹文雄先生の講演、金融を中心にした北海道独自の教材開発や授業づくりを協議します。また、グループワークによる教案作成なども行います。

内容の詳細及び参加方法は、ネットワークの以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/20110806%20SapporoWS..pdf>

■東京部会（No.41）を開催します。

日時：9月15日（木）19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部7号館（予定）

内容：夏のセミナーの総括、他

参加方法などは、ネットワークの以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo041flyer.pdf>

■大阪部会（No.25）を開催します。

日時：9月3日（土）18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

内容：報告、12月の年次大会の準備、他

参加方法などは、以下のネットワークHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka025flyer.pdf>

【 3 】 授業のヒント

授業に臨むに際しては、小ネタをたくさん持っていることが大切だと言われています。今回はその一つを紹介します。題して「億万長者ゲーム」。

この教材、ゲームとなっていますが、競技を楽しむというゲームではなく、アンケートに答えるという形式のものです。アメリカのパーソナルファイナンス教育でよく使われるものです。それを山村学園短期大学の浅野忠克先生が翻訳して、紹介されています。問題は次の12問です。事例はアメリカですので、それをしっかり確認してスタートさせてください。

- 第 1 問 たいていの億万長者は大学を卒業している。
- 第 2 問 たいていの億万長者は週 40 時間以下しか働いていない。
- 第 3 問 億万長者の半数以上は、親の財産を受け継いでいない。
- 第 4 問 億万長者が買い物をするために持っているカードは、スーパーマーケットのものよりも、クレジット会社 (Amex) のゴールドカードの方が多い。
- 第 5 問 億万長者が乗っている車は高級車より大衆車の方が多い。
- 第 6 問 たいていの億万長者は、スポーツ・芸能・IT といった派手な仕事に従事している。
- 第 7 問 たいていの億万長者は、大企業の上位 500 社以内にランクされている会社で働いている。
- 第 8 問 億万長者になった人の中には、豊かでないときに宝くじに当たった人が多くいる。
- 第 9 問 大学を卒業すると、高卒の人よりも約 65% 多い所得を得られる。
- 第 10 問 毎日、何回も株式取引を繰り返しているデイ・トレーダーの多くが、億万長者になっている。
- 第 11 問 億万長者になりたければ、リスク (危険) の多い株式取引は避けるべきだ。
- 第 12 問 億万長者になるには、結婚するよりも、独身でいた方がよい。

さて皆さんはいかがでしょう。億万長者になれる確率は、正解数 10~12 問で 50%、7~9 問で 40%、4~6 問で 30%、1~3 問で 20% だそうです。なお、0 問でも 10% の確率がそう、このあたりは授業でやると結構盛り上がります。先生方も、休み明けなど生徒があまり授業に集中していない時や、金融の授業のなかでやってみることをお勧めします。

なお、正解は次回発表いたします。

【 4 】 編集後記 (みみずのたはこと)

大阪にいる息子一家を訪ねました。その帰り小旅行で、敦賀まで足を延ばし原発を見してきました。もちろん中には入れませんので近くまで行ったということです。今回行ったのは、関西電力の美浜原発です。敦賀から敦賀湾を見ながら海岸線を道なりにゆき、その途中に美浜へむかう道を左折するとすぐ真新しいトンネルがあります。敦賀半島をぶち抜いています。多分、原発の交付金でつくられたトンネルだなと想定されます。トンネルを抜けると若狭湾です。海岸には海水浴場があり、家族連れが海水浴をしていました。その先に美浜原発があり、原子力 PR センターがあります。さすがに今こここまでくるのは私のような「変わり者」かもしれません。館内はほとんど人がいませんでした。時間がなかったので資料をもらい、さっと見学しただけで帰りましたが、風光明媚な景色と原発はどうもしっくりこないと感じました。

敦賀の街には、原発関連の企業のオフィスの看板がいくつかあり、地域経済と原発が結びついていることがわかります。美浜原発は1号機が1970年操業開始ですから40年以上運転されていることとなります。福島第一も同じ時期です。地域の人々の複雑な思いが美しい風景から浮かび上がる感じがしました。

日本のエネルギー問題というマクロの観点だけでなく、地域と原発というミクロの観点から考える必要があるという点で、やはり「百聞は一見に如かず」でした。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◆